

スーパーオイルポンプキット（リリーフバルブ機能付）取扱説明書

製品番号 01-16-0067



Here is english manual.

Can be view the pdf data of instruction English manual by scanning the TWO-DIMENSIONAL CODE.

適応車種	GROM	(JC92-1000001 ~)
	モンキー 125	(JB03-1000001 ~)
		(JB05-1000001 ~)
	ダックス 125	(JB04-1000001 ~)
		(JB06-1000001 ~)
	スーパーカブ 110	(JA59-1000001 ~)
	クロスカブ 110	(JA60-1000001 ~)
	スーパーカブ 110 プロ	(JA61-1000001 ~)
	スーパーカブ C125	(JA58-1000001 ~)
		(JA71-1000001 ~)
	ハンターカブ CT125	(JA65-1000001 ~)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

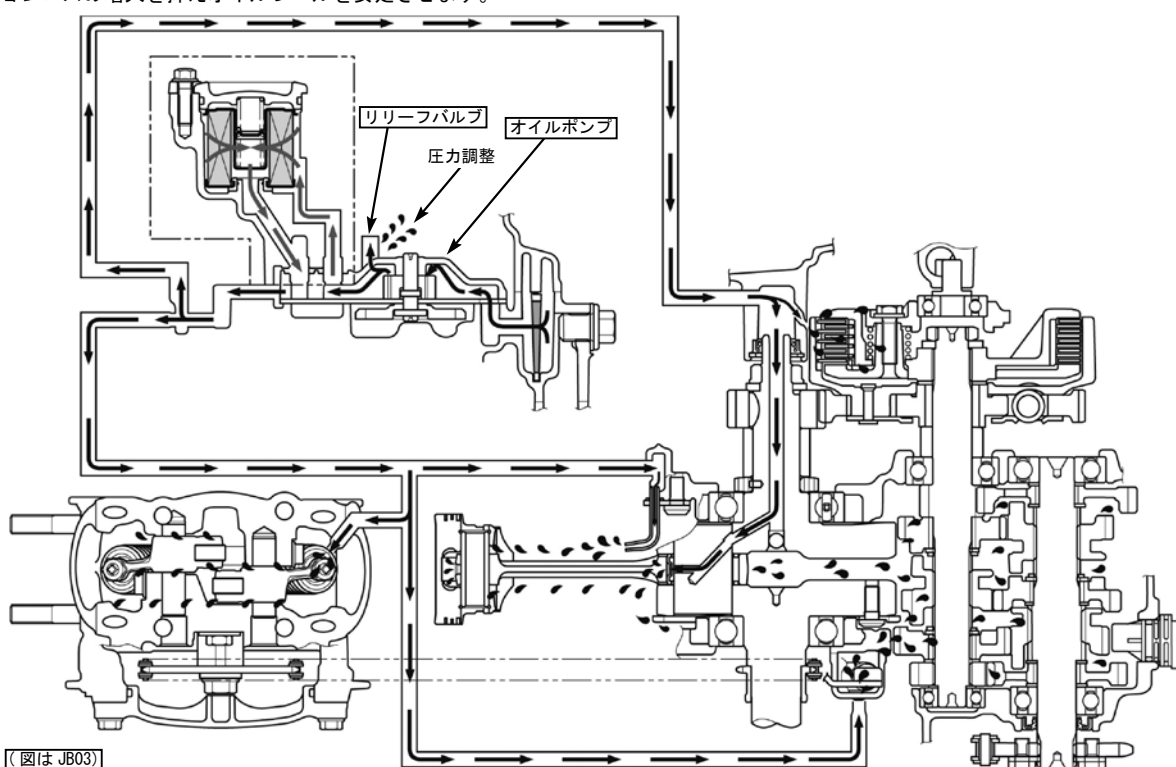
☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工、分解等された場合やこの取扱説明書に記載されている方法以外で取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種の車両専用品です。
同一車種であっても上記適応型式以外の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
- ◎当製品の取り付けには、上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを必ず参照し確実に行って下さい。
- ◎この取扱説明書は、基本的な技術や知識を持った方を対象に作成しております。
取り付けに自信の無い方や、取り付けに必要な工具等をお持ちで無い場合は取り付け作業は行わずに、指定工場、又は認証工場などの車両整備が可能な業者へ取り付けをご依頼下さい。
- ◎当製品には、取り付けの際に必要な R. クランクケースカバーガスケット、ガスケット B、シーリングワッシャは含まれておりません。
別途お買い求め下さい。
純正品番 11394-K1M-T02 : ガスケット, R クランクケース 12396-KRM-840 : ガスケット B, ヘッドカバー 90407-259-000 : パッキン, ドレンコック
- ◎当製品はノーマルオイルポンプのオイル吐出量を大幅に増量しております。エンジンをスーパアップしている車両には有効ですが、車両仕様によりオイル量を増やす必要がある場合があります。ECU チューニング等でエンジン回転数の上限を上げているエンジン仕様の場合、下記記載を参考に対応して頂く事を推奨します。(純正オイルポンプ使用時でも同様の対応を推奨します。)
参考オイル追加量
・ 9500rpm までで使用する場合は特にオイル量を増やす必要はありません。
・ 10000rpm を連続使用する様な場合 : 50cc 程度オイル量アップを推奨 ・ 11000rpm を連続使用する様な場合 : 100cc 程度オイル量アップを推奨
- ◎製品には、エッジや突起がある場合があります。必ず作業手袋を着用し作業を行って下さい。
(説明書内で作業手袋未着用の写真がある場合でも、作業時は作業手袋等を着用して下さい。)

～特徴～

- ◎純正オイルポンプより吐出量を増大させ油圧を上げた場合、高回転時にオイルポンプボディとオイルポンププレートの隙間からオイルリークが発生し適正な吐出量を循環させる事が出来ません。
弊社製オイルポンプは吐出量を増大させても高回転時で安定した油圧を確保する為、結合するボルト数を増やし、(純正 1 本 弊社製 5 本) プレート厚を増す事で剛性を上げ高回転時のオイルリークを解消させています。
- ◎弊社製オイルポンプは吐出量を純正比約 50% 増加させ不安定なアイドル時の油圧を確保し、回転上昇に伴う油圧変化に対応する様、オイルラインに一定の油圧に達した時のみバルブが開くリリーフバルブ機能を設置しております。
これにより冷間時の回転上昇時の過大な油圧上昇を抑え駆動部やシール部の損傷を抑え、エンジン高回転時には必要以上のオイル量を吐出させずフリクションロスの増大を抑えオイルレベルを安定させます。

潤滑経路図



(図は JB03)

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL: 0721-25-1357 FAX: 0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

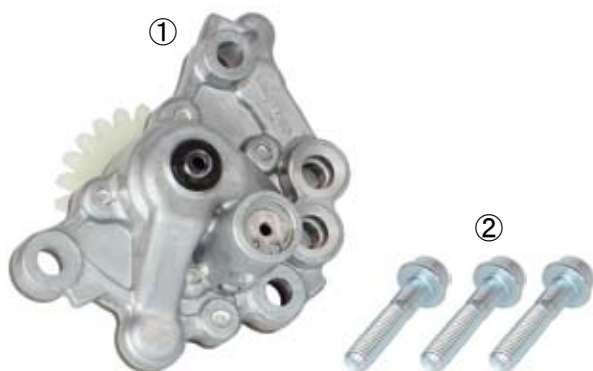
- 作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、作業手袋等を着用し手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）
- ガスケットは必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（事故につながる恐れがあります。）
- 製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させていただきます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

製品内容



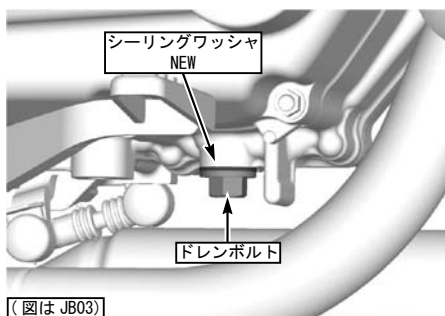
番号	部 品 名	個数	リペア品番
1	オイルポンプ COMP.	1	
2	フランジソケット キャップスクリュー 6x30	3	00-00-2881 (3 ケ入り)

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。
※リペアパーツはキット内容と若干、形状等異なる場合があります。
使用につきましては問題ございません。予めご了承下さい。

取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

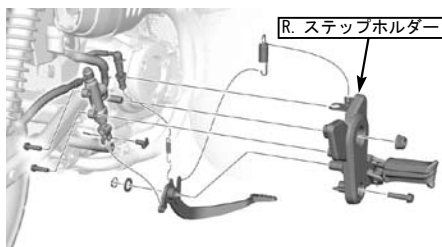
- 組み付け時に必要となる新品の R. クランクケースカバーガスケット、及びガスケット B を用意する。
- エンジンをかけ3～5分程度暖気運転する。
- エンジンを停止させ、2～3分放置する。
- ドレンボルト下にオイル受けを用意し、ドレンボルト、シーリングワッシャを取り外し、エンジンオイルを排出する。
- 新品のシーリングワッシャを使用し、ドレンボルトを規定トルクまで締め付ける。

注意：必ず規定トルクを守る事。
ドレンボルト
トルク：24N・m (2.4kgf・m)



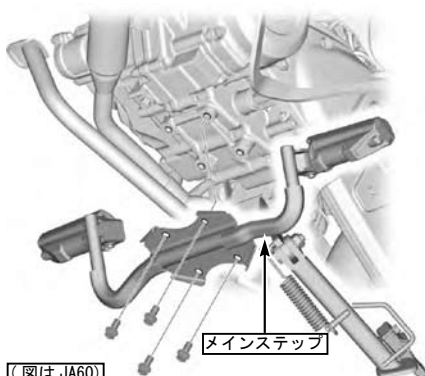
(図は JB03)

- ※モンキー 125/GROM/ ダックス 125
・純正サービスマニュアルを参照し、R. ステップホルダーを取り外す。



(図は JB03)

- ※スーパーカブ 110/CT125 等、メインステップバー仕様の車両
・純正サービスマニュアルを参照し、メインステップを取り外す。

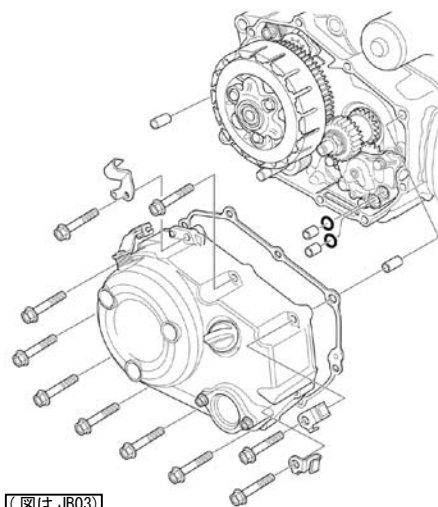


(図は JA60)

- ※キックスターターアーム付車両
・キックスターターアームを取り外す。

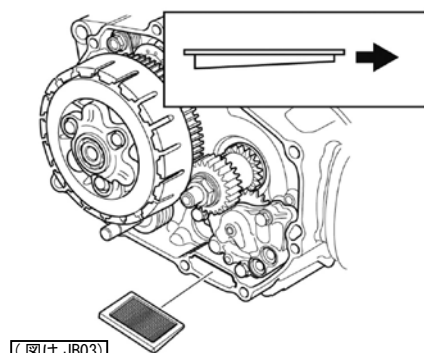
※取り付け要領は、モンキー 125/GROM に準じた作業内容で記載しております。
遠心クラッチ車両とは、スケッチ及び写真等の内容が異なりますので、予めご了承下さい。

- 対角に数回に分けスクリューを緩め、R. クランクケースカバーを取り外し、R. クランクケースカバーガスケット、ノックピン、ガスケット B を取り外す。

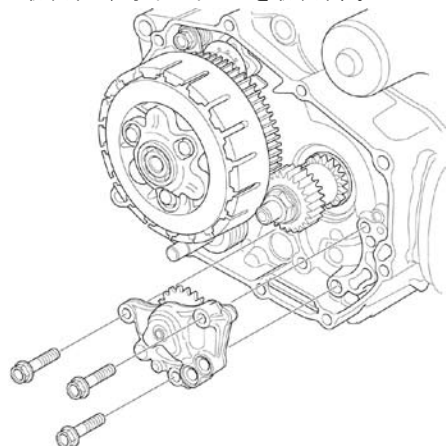


(図は JB03)

○オイルストレーナーを取り外し、スクリーン部を掃除しストレーナのテーパ側をクランクケース側に向け、薄いエッジ（図は JB03）を上向きにして、スクリーンを取り付ける。



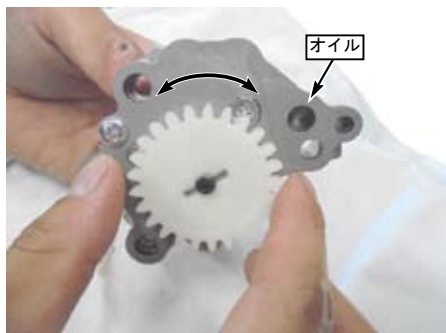
○オイルポンプを止めている3本のスクリューを取り外し、オイルポンプを取り外す。



○クランクケースにノックピンをセットする。



○①オイルポンプ COMP. の裏面のオイル通路部にエンジンオイルを少量流し込み、ドリブンギアを回転させオイルポンプ内部にオイルを馴染ませる。

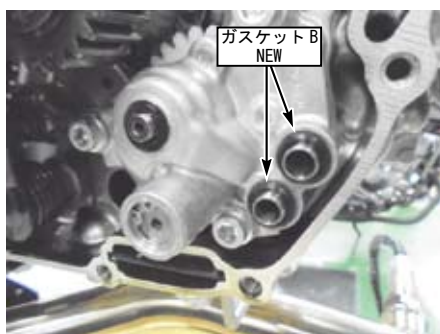


○ギアをかみ合わせ、①オイルポンプ COMP. をクランクケースに取り付け、②フランジソケットキャップを用いて規定トルクまで締め付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジソケットキャップスクリュー
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

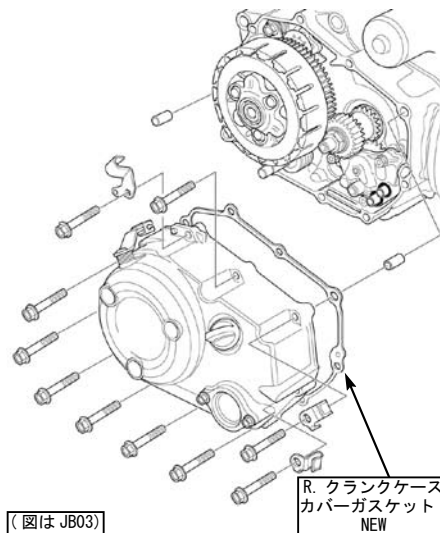


○ガスケット B、ノックピンを①オイルポンプ COMP. にセットする。



○クランクケースの合わせ面の汚れをきれいに拭き取り、ノックピン、新品の R. クランクケースカバーガスケットをセットし、R. クランクケースカバーをクランクケースに取り付け、スクリューを対角に数回に分け規定トルクまで締め付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



（図は JB03）

○取り外した各パーツを取り外しと逆手順に純正サービスマニュアルを参照し取り付け。

⚠ 注意：必ずサービスマニュアルの指示に従う事。

○オイル注入口からエンジンオイルを規定量注入する。

- ・モンキー 125/GROM
オイル交換時 0.9ℓ
エンジン分解時 1.05ℓ
- ・スーパーカブ 110/ クロスカブ 110/
スーパーカブ 110 ブロ /C125/CT125/
ダックス 125
オイル交換時 0.8ℓ
エンジン分解時 1.0ℓ

○エンジンを始動し、3～5分間暖機運転を行う。

○エンジンを止め、2～3分間放置する。

○水平な場所で車両を垂直に支える。

各車両のオイル点検内容に従い、オイル量をアッパーレベラー杯になる様調整する。

⚠ 注意：必ずサービスマニュアルを参照する事。

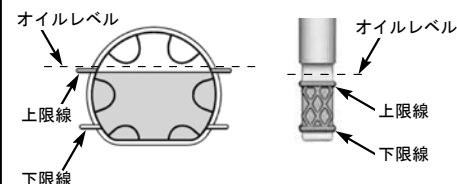
● ECU チューニング等でエンジン回転数の上限を上げている車両で、上限回転数付近を連続使用する様な状況時は、下記を参考にオイル量を増やす事を推奨します。

・9500rpm までで使用する場合は特にオイル量を増やす必要はありません。

・10000rpm を連続使用する場合
：50cc 程度オイル量アップを推奨

・11000rpm を連続使用する場合
：100cc 程度オイル量アップを推奨

※増量した時のレベルゲージ及びオイル窓のレベル確認はあくまで目安であり、増量する容量をはかり注入する事を推奨します。
(100cc 増量時のレベル目安)



○作業で付着した汚れをよく拭き取ります。

